

## 令和4年度事業計画書

新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返しながら依然として感染拡大を続けている。昨年、第四波・第五波と新たな波を迎える度に感染者数は倍増し、今年に入ってから第六波では、感染力の強いオミクロン株により、僅か2か月の間に全国で昨年1年間の新規感染者数の2.2倍、岡山県では2.3倍もの新規感染が発生したところである。

昨年は、延期されていた東京オリンピックが開催されたものの、無観客対応で人の移動に繋がらないばかりか、復調するかに見えた観光や広域移動は感染の波を迎える度に一挙に冷え込み、国のGo Toトラベル事業や岡山県の観光促進支援策、プレミアム交通券などの公共交通利用促進策が十分な効果を発揮しないままそれらの事業が停止された。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に加え、燃料価格の高騰がバス事業にとって大きな足枷となっている。今年3月時点では前年比24%の上昇となっており、政府の石油元売りへの補助による対策がなされているものの、ロシアによるウクライナ侵攻など不安定な世界情勢を背景とした原油供給不安から価格の上昇に歯止めがかからない状況となっている。

このような状況の中で、バスの利用は前年に引き続き大きく低迷し、それとともに乗務員の減少も続いている。中国バス協会が毎年調査している事故統計調査における運転者数の集計では、岡山県は令和3年とコロナ前の令和元年を比較すると△13.7%となっており、コロナ後のバス運行維持・確保について不安要因となっている。

令和4年度、岡山県ではJRのデスティネーションキャンペーンや岡山市で3年毎に開催される岡山芸術交流、香川県を中心に3年毎に開催される瀬戸内国際芸術祭、おかやまマラソンの3年ぶりの開催など、集客効果の高いイベントの開催が予定されている。

岡山県バス協会では、新型コロナウイルス感染拡大による厳しい状況を打開し、地域公共交通としての路線バスを確保・維持し、観光を支え災害時のライフラインとしての役割も担う貸切バスを安全且つ安定的に維持するとともに、バスの利用促進、バス利用者の利便性向上、各種イベント等における安全安心な移動の提供等に向けて日本バス協会、中国バス協会など関係団体や国、県、警察、

市町村など行政との連携・協力を一層推進するため、役員会・各種委員会を通じて会員相互の協力のもと、令和4年度において次の事項を重点的に実施することとする。

## 《令和4年度事業計画》

### 1. 総会、役員会、委員会、部会の開催

- ①通常会員総会
- ②役員会（理事会）
- ③監事会
- ④財務委員会
- ⑤運営委員会
- ⑥貸切委員会
- ⑦技術委員会
- ⑧事故防止対策委員会
- ⑨補助金運用委員会
- ⑩岡山市中心市街地の公共交通に関する検討委員会
- ⑪バスの日記念事業検討部会等各部会
- ⑫西口バスターミナル運用協議会・西口バスセンター運営委員会

### 2. 日本バス協会、中国バス協会への参加出席

- ①日本バス協会総会、役員会、委員会等各会議  
（全国事業者大会 広島開催予定）
- ②中国バス協会総会、役員会、委員会等各会議

### 3. 新型コロナウイルス感染拡大による影響への対応とバスの利用促進

- ・ バス事業（乗合・貸切）について調査を実施し、影響を具体的に集約
- ・ 関係機関、団体に対する支援策の陳情・要望
- ・ 日本バス協会策定の「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」及び貸切バス旅行連絡会策定の「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に沿ったバス事業者の対応についての周知

- ・ バス車両の換気対策等、新型コロナウイルス感染症に対する安全性の周知
- ・ アフターコロナ、ウィズコロナに向けたバス利用促進の取組み
- ・ G o T o トラベル事業をはじめとした、国・自治体等の観光振興施策と連携した団体旅行、広域移動への対応による貸切バス・高速バスの利用促進
- ・ その他対応策についての情報共有

#### 4. バス輸送改善事業

- ・ 岡山駅東西バスターミナル利用者の利便性向上、安全かつ効率的な運用を図るための関係機関との協議、施設等の整備・運営
- ・ I Cカードの利用促進
- ・ 県内各バス停の整備
- ・ バスの日記念事業でのサービス向上運動、バス利用促進
- ・ バスロケーションシステム、パークアンドバスライド、バス優先通行措置等の推進
- ・ 渋滞対策、違法駐車対策等輸送環境改善に向けた取組
- ・ ノンステップバス・ワンステップバス等の導入促進
- ・ バス路線案内表示等の整備
- ・ 貸切バス事業者と旅行会社との意見交換や西日本ブロック内の貸切バス事業者間の情報交換などによる健全な事業運営と訪日外国人旅行者受入れ環境の整備

#### 5. 安全輸送体制の確保

- ・ 国土交通省策定の「事業用自動車総合安全プラン2025」による安全対策等の周知と目標達成に向けての取組の推進
- ・ 「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」の実効性を高めるための貸切バス事業者への情報提供及び指導
- ・ 運輸安全マネジメントの確実な取組みに向けての指導
- ・ 飲酒運転防止のための対策の実施に向けた「飲酒運転防止対策マニュアル」の周知徹底
- ・ 車内事故防止のためのキャンペーンの実施による利用者への「ゆとり乗降」の啓発と運転者に対する「ゆとり運転」による安全運行の徹底
- ・ 信号機のない横断歩道における「歩行者優先」の徹底

- ・ 関係各方面へのバスの円滑な運行に向けての協力依頼
- ・ シートベルト着用の啓発
- ・ 運輸安全マネジメント研修、運行管理者講習、運転者適性診断、ドライバー研修（実技）等の積極的受講の推進
- ・ 安全運転教育、車内事故防止等に効果的なドライブレコーダー・デジタコ導入の促進
- ・ 交差点右左折時一旦停止の推進
- ・ 貸切バス事業の適正化を図るための一般社団法人中国貸切バス適正化センターによる貸切バス事業の巡回指導についての支援
- ・ 健康管理や睡眠時無呼吸症候群の検査等の取組みの啓発と支援
- ・ 脳疾患・心疾患の検査等の取組みの啓発と支援
- ・ 「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の周知及び現地訪問審査の協力
- ・ 安全輸送体制確立に向けたゆとりある勤務体制構築のため、運転者不足問題についての関係機関との協働

## 6. 環境対策の推進

- ・ 環境対応車両の導入に努め、アイドリングストップ等エコドライブの推進
- ・ EV、FCV等次世代自動車の導入及び課題解決に向けた検討
- ・ エコドライブに効果的なEMS（エコドライブ管理システム）導入の促進
- ・ 「自動車点検・整備推進運動」等排出ガスによる大気汚染の防止対策の推進

## 7. 運輸事業振興助成交付金の適切な運用

- ・ 「補助金運用委員会」「事故防止対策委員会」「運営委員会」「貸切委員会」等委員会からの意見の反映による適切な運用

## 8. 各種イベントへの参画等バス利用促進

- ・ 「こどもの日」や「バスの日」においてバス利用の魅力を周知し、将来のバス利用者の拡大を図る
- ・ 「岡山県公共交通教室連携会議」などバス利用促進につながる事業への積極的な参加
- ・ おかやまマラソンにおける安全・安心なバス輸送の対応

## 9. 陳情・要望等

- ・ バス事業の振興、運賃制度、安全対策、環境対策、バリアフリー及び渋滞対策などに係る税制・予算、制度及び対策についての関係機関への陳情・要望
- ・ 旅行業者との協働を行う上で、バス事業にかかる安全対策・事故防止対策の周知と関係行政機関への監査体制の整備要望
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援要望

## 10. その他

- ・ 行政等からの広報等への協力
- ・ 各種統計資料等の作成、配布
- ・ ホームページの運用等広報活動